

IRを活かした九州広域連携の基本的な考え方（案）

国の基本方針(案)概要から抜粋

◆ IR整備の意義

- 国際的なMICEビジネスを展開し、日本の魅力を発信して世界中から観光客を集め来訪客を国内各地に送り出すことにより「国際競争力の高い魅力ある滞在型観光」を実現。

◆ IR整備の目標

- 我が国におけるMICE開催件数の増加。
- 2030年に訪日外国人旅行者数6,000万人消費額を15兆円とする政府目標達成の後押し。
- 訪日外国人旅行者の国内各地の観光地への訪問の増加。
(令和元年9月4日 政府IR推進本部公表)

魅力ある滞在型観光の実現に向けたIR施設の機能(評価基準から抜粋)

◆ MICE施設

- MICEビジネスの国際競争力の向上に十分なスケール、重要な国際会議等に対応できる優れたクオリティを持つこと。

◆ 魅力増進施設

- 日本の魅力をこれまでにないクオリティで発信すること。

◆ 送客施設

- 各地の観光魅力を伝えるショーケース機能
旅行サービスの手配を一元的に行うコンシェルジュ機能を持つこと。



九州観光戦略

I.九州ブランドイメージ戦略

II.観光インフラ整備戦略

III.九州への来訪促進戦略

IV.来訪者の滞在・消費促進戦略



IRによる広域連携施策

<検討の方向性>

- ◆ 九州内の広域周遊の促進
- ◆ クオリティと地域の創意工夫による差別化
- ◆ 九州全体での協力・支援体制の構築

九州全体でIRの整備効果を共有

- ①九州内の広域周遊の促進
- ②九州観光戦略への貢献
- ③九州各地の食材調達による地産地消の推進
- ④ IR事業者とのビジネス連携や地域貢献の促進
など

I Rを活かした九州広域連携の方向性

①九州内の広域周遊の促進に向けた連携、受入体制の強化

- I R施設において、多彩な輝きを放つ九州ならではの旬な魅力・コンテンツ(自然、伝統・歴史・文化、食等)を情報発信できる連携体制の構築を目指す。



②食材の供給、地産地消の推進

- 九州の新鮮かつ安全で多様な食材の I R施設への供給を目指す。



③地域貢献の促進

- IR事業者による協賛や地域貢献事業等への参画などを通じて、I R事業者と九州各地との相互理解や良好な関係づくりを促す。



災害復興支援や地域の祭り・イベントへの協賛

- このほか、九州観光戦略と連携した取組を検討。(グローバルMICEの九州への誘致など)
- 今後は、I R事業者の考えを踏まえつつ、連携体制の在り方など具体的な検討に着手。